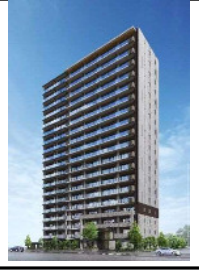


CASBEE[®] さいたま2016年版 | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE さいたま2016年版 使用評価ソフト: CASBEE さいたま2016ver.2.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	さいたま市大宮区吉敷町2丁目86番計画	階数	地上19F、地下0階
建設地	さいたま市大宮区吉敷町二丁目86番1、87番1、87番3、88番2、88番5、88番8	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	406 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2021年8月5日
敷地面積	1,887 m ²	作成者	川口土木建築工業株式会社 一級建築士事務所 嶋田 真弘
建築面積	640 m ²	確認日	2021年8月5日
延床面積	9,301 m ²	確認者	川口土木建築工業株式会社 一級建築士事務所 山家 幸浩



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	81%
③ 上記+②以外の	81%
④ 上記+	81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

音環境	2.7
温熱環境	3.5
光・視環境	3.5
空気環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

機能性	3.8
耐用性	3.0
対応性	3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.1

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	3.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.8
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源	2.2
非再生材料の使用削減	2.7
汚染物質回避	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化への配慮	3.7
地域環境への配慮	3.1
周辺環境への配慮	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 本建物は、さいたま新都心駅から徒歩10分の場所に計画された共同住宅である。敷地内には積極的に緑地を設け、自然環境の保全や創出に配慮した計画としている。	その他 特になし	
Q1 室内環境 ・全面的にF☆☆☆☆及び規制対象外の建材を採用し、室内空気質の健全化に配慮する。	Q2 サービス性能 ・劣化等級3を満足し、躯体の長寿命化に配慮する。 ・耐用年数の長い配管材料を採用し、配管材の長寿命化に配慮する。	Q3 室外環境 (敷地内) ・敷地内に低、高木をバランス良く植栽し、生物環境の保全と創出に配慮する。
LR1 エネルギー ・LED照明を採用し、省エネルギーへ配慮する。	LR2 資源・マテリアル ・躯体と仕上げ材の分別が容易な計画とし、部材の再利用可能向上へ配慮する。 ・ノンフロン断熱材を採用し、ODP値及びGWP値低減へ配慮する。	LR3 敷地外環境 ・十分な駐車スペースを確保することで路上駐車等を防止し、周辺道路の渋滞緩和に配慮する。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEEさいたま2016年版
さいたま市大宮区吉敷町2丁目86番計画

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版
 ■評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.2.0

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								3.3
Q1 室内環境					0.40			3.4
1 音環境				2.0	0.15	3.0	1.00	2.7
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音				1.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能				1.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音				-	-	-	-	
2 温熱環境				2.0	0.35	4.0	1.00	3.5
2.1 室温制御				3.0	0.50	4.0	1.00	
1 室温				3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能		<住居>住宅性能表示基準「5-1断熱性能等級」における等級4相当。		3.0	0.38	4.0	1.00	
3 ゾーン別制御性				-	-	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式				1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				3.2	0.25	3.7	1.00	3.5
3.1 昼光利用				3.0	0.30	3.4	0.50	
1 昼光率		<住居>昼光率2.0%以上。		3.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口				-	-	1.0	0.30	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御		<住居>カーテンと庇(上階バルコニー)を組み合わせることでグレアを制御。		2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度				3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		<共用>タイマーによる自動照明制御。		5.0	0.25	-	-	
4 空気環境				3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		<共用><住居>全面的にF☆☆☆☆及び規制対象外の建材を採用。		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量		<住居>基準法の1.4倍以上の換気量を確保。		1.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能				-	-	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		<共用>汚染源の少ない方位かつ各種排気口と異なる方位。		5.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理				-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-	
2 喫煙の制御				-	-	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.4
1 機能性				3.1	0.40	4.0	1.00	3.8
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性				-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		<住居>Gbitクラスの通信が利用可能。		-	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	2.5	0.40	
1 広さ感・景観		<住居>天井高2.5m以上。		-	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3 内装計画				3.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性のある床材の採用、段差のない設計等。		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		住宅性能表示基準「3-1劣化対策等級」における等級3相当。		5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種のうち、2種類にB以上を使用かつEは不使用。		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-	
3 電気設備				3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		耐震クラスはAクラス。		4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.0	0.30	3.4	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり		-	-	3.8	0.50	
1 階高のゆとり	<住居>階高3.0m以上。	-	-	5.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	日影や緑地の形成による暑熱環境の緩和。	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当。	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.92	3.8	0.50	-	-	3.8
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護		2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水		1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.7	0.60	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材の分別が容易な計画。	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0.01未満、GWP値=50未満の断熱材を採用。	4.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮	CO2排出率:81%	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	駐輪場・駐車場ともに十分な台数を確保。	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明:「光害対策ガイドライン」の過半を満足。	4.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	